

巖島（いつくしま）神社 花隈町



祭神は市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）（俗に弁財天と呼ばれている）。平清盛は、承安年間（1171～1175年）に経ヶ島（きょうがしま）を築造する際に、人々の安泰を祈願して、巖島明神を宮島の七浦にちなみ七ヶ所に祀り、兵庫七弁天と呼んだ。その内の一つが花隈弁天で、通称浜の弁天とも呼ばれた。最初は花熊村にあったが、花熊城が築かれた際に生田神社の境内に移され、天明年間（1781-1789）には、宇治川の河口である現在の「弁天町」に移された。この弁天町という町名も、弁財天を祀る巖島神社がその地にあったから付けられたものである。明治時代に海岸工事が行なわれた際、弁天町から今の場所に移された。

場所：神戸市中央区花隈町 6-5